資料3

東北地方交通審議会　第7回政策推進部会

平成17年答申以降の社会経済情勢の変化

平成28年8月4日（木）

1．東北の概況（17年答申以降の約10年間の比較）

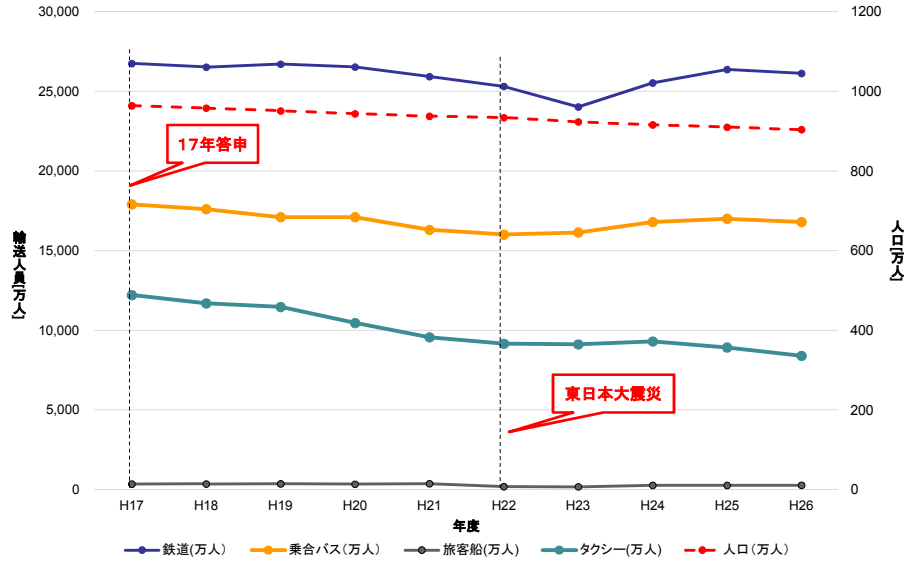
- 人口及び鉄道サービスが減少傾向にある中で、旅客及び貨物輸送量は震災後、徐々に回復傾向にある。
- 道路実延長及び自動車保有台数の自動車関連指標は全国と同等に増加傾向にある。

項目 / 種別	単位	基準年次	東北（A）	増減状況 H17年比	全国（B）	A／B（%）	資料出典
可住地面積	平方キロメートル	H17	**20,267.44**	**－**	121,384.07	16.7	総務省（社会生活統計指標－都道府県の指標）
		H22	**20,350.21**	**+0.4%**	122,146.58	16.7	
		（最新）H26.10.1	**20,345.51**	**+0.4%**	122,203.88	16.6	
可住地人口密度	人/㎢	H17	**479.6**		1,045.2	45.9	可住地面積：社会生活統計指標 人口：住民基本台帳要覧
		H22	**462.7**	**▲3.5%**	1,040.2	44.5	
		（最新）	**449.5**	**▲6.3%**	1,051.0	42.8	
人口	千人	H17.3.31	**9,720**	**－**	126,869	7.7	総務省（住民基本台帳人口要覧）
		H22.3.31	**9,417**	**▲3.1%**	127,058	7.4	
		（最新）H27.1.1	**9,145**	**▲5.9%**	128,438	7.1	
県民所得	十億円	H17	**24,056**	**－**	400,508	6.0	内閣府（県民経済計算）
		H22	**22,400**	**▲6.9%**	374,215	6.0	
		（最新）H25年度	**24,395**	**+1.4%**	390,172	6.3	
鉄軌道旅客営業キロ	キロメートル	H17	**3,693**	**－**	27,635	13.4	国土交通省（鉄道輸送統計月報）
		H22	**3,674**	**▲0.5%**	27,643	13.3	
		（最新）H27.3末	**3,621**	**▲1.9%**	27,754	13.0	
道路実延長	キロメートル	H17	**151,874**	**－**	1,170,363	13.0	国土交通省（道路統計年報）
		H22	**153,022**	**+0.8%**	1,207,867	12.7	
		（最新）H26.4.1	**154,279**	**+1.6%**	1,218,772	12.7	
旅客輸送量	百万人	H17	**639**	**－**	28,548	2.2	国土交通省（旅客地域流動調査） ※平成22年度以降、自家用自動車を含まないため、自家用自動車を除く数値で整理
		H22	**575**	**▲10.0%**	28,894	2.0	
		（最新）H25年度	**609**	**▲4.7%**	29,746	2.0	
貨物輸送量	百万トン	H17	**1,003**	**－**	5,585	18.0	国土交通省（貨物地域流動調査）
		H22	**897**	**▲10.6%**	5,105	17.6	
		（最新）H25年度	**993**	**▲1.0%**	4,895	20.3	
自動車保有台数	千台	H17	**6,889**	**－**	78,992	8.7	国土交通省（自動車保有車両数）
		H22	**6,815**	**▲1.1%**	78,661	8.7	
		（最新）H28.3	**7,124**	**+3.4%**	80,901	8.8	

1

2. 東北における輸送人員の推移（鉄道・バス・タクシー）

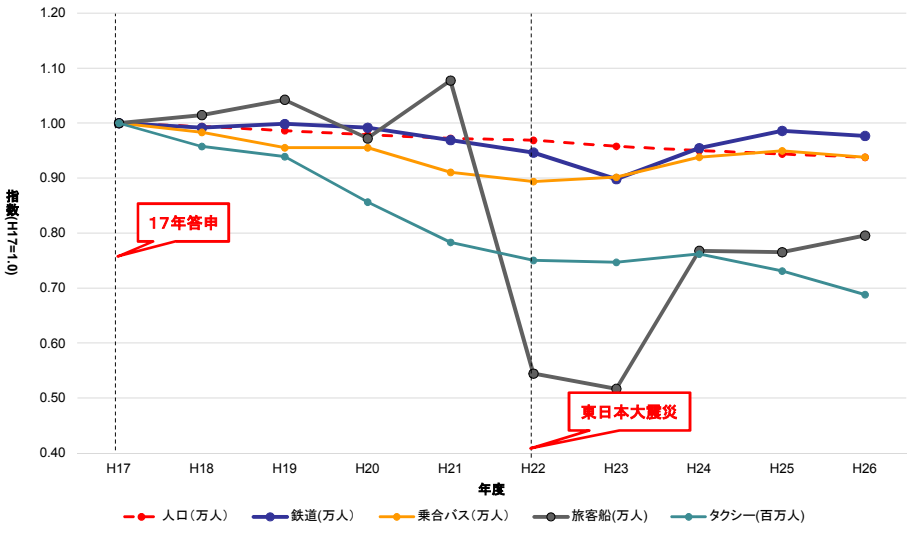
- 鉄道及び乗合バスの輸送人員は横ばいから減少傾向であったが、東日本大震災の翌年(H23)以降は、増加に転じた。
- 一方、タクシーの輸送人員は、東日本大震災以降も減少し続けている。



2

2. 東北における輸送人員の推移（鉄道・バス・タクシー）

- 鉄道輸送人員は、人口推移とほぼ同様の傾向で推移していたものの、H23に大きく減少後、H24以降は人口推移を上回っている。
- 乗合バスの輸送人員は人口推移を下回る傾向であったが、H22以降増加に転じ、現在では概ね人口推移と同等である。
- 一方、タクシー、旅客船についてはH26年度時点で、人口推移以上に大きく減少している。

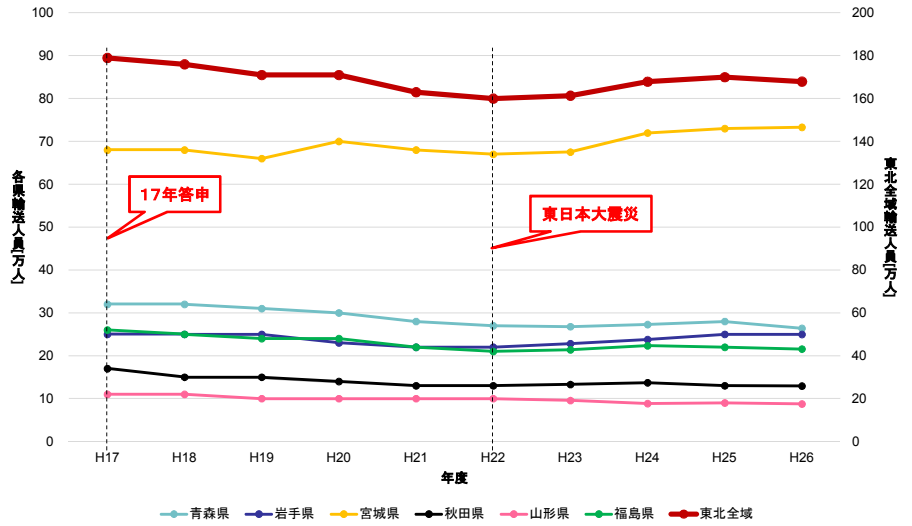


3

2. 東北における輸送人員の推移（鉄道・バス・タクシー）

【各県別の傾向：乗合バス】

- 輸送人員の多い宮城県や岩手県ではH23以降増加に転じたため、東北全体も同様に増加傾向となっているが、他県については、減少もしくは横ばい傾向となっている。

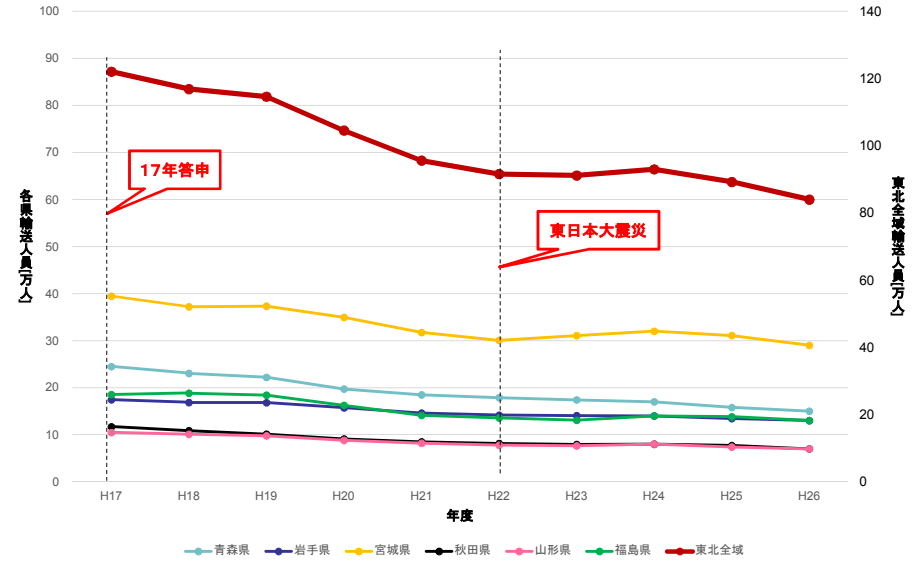


4

2. 東北における輸送人員の推移（鉄道・バス・タクシー）

【各県別の傾向：タクシー・ハイヤー】

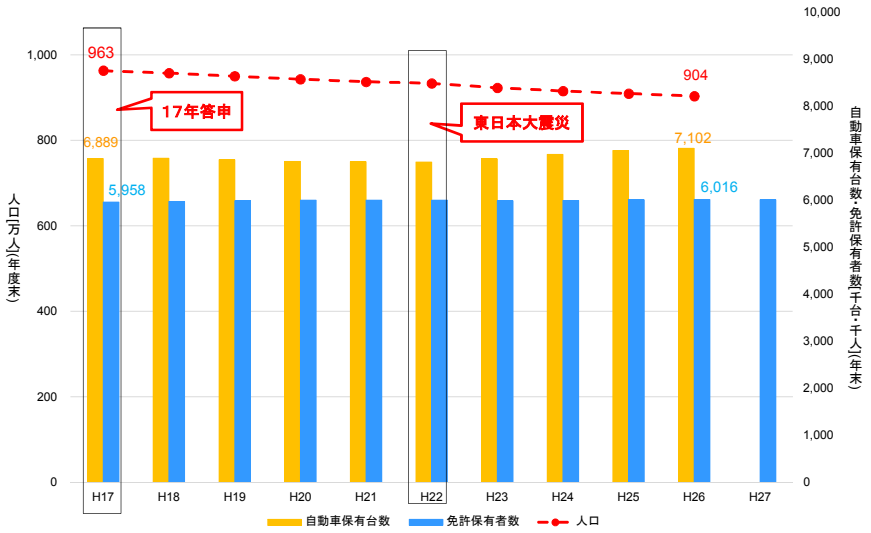
- すべての県において減少傾向である。



5

2. 東北における輸送人員等の推移（自動車関連）

【東北全体の傾向：自動車関連】
- H17と最新時点を比較すると、人口が減少傾向にあるのに対し、自動車保有台数及び免許保有者ともに増加傾向にある。

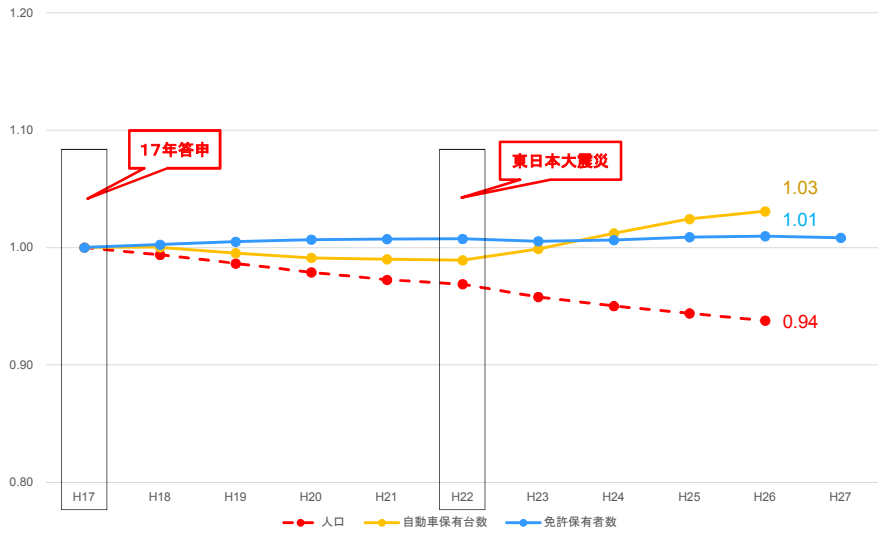


6

2. 東北における輸送人員等の推移（自動車関連）

- 人口が減少傾向にあるのに対し、自動車保有台数及び免許保有者数は増加傾向にある。
- 東日本大震災以降、特に自動車保有台数の増加率が大きい。

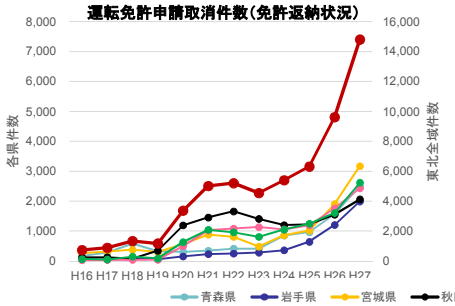
P8の増減率算定版（H17＝100）

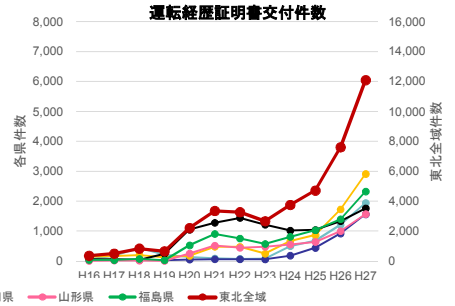


7

2. 東北における輸送人員等の推移（自動車関連）

【東北全体の傾向：自動車関連】
- 免許所有者本人の申請による運転免許の取消件数、運転経歴証明書交付件数ともに、近年は急激に増加している。





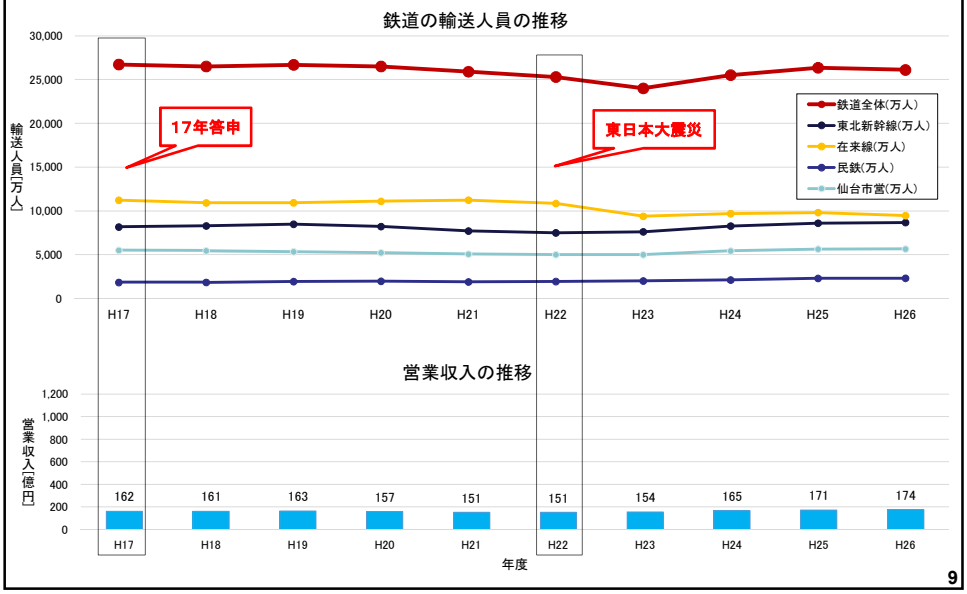
青森県　岩手県　宮城県　秋田県　山形県　福島県　東北全域

		平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
全国	申請取消件数	78,246,948	78,798,821	79,329,866	79,907,212	80,447,842	80,811,945	81,010,246	81,215,266	81,487,846	81,860,012	82,076,223	82,150,008
	運転経歴証明書交付件数	15,333	19,025	23,203	19,457	29,150	51,086	65,605	72,735	117,613	137,937	208,414	285,514
東北全体	申請取消件数	742	901	1,349	1,183	3,379	5,021	5,208	4,551	5,405	6,321	9,620	14,804
	運転経歴証明書交付件数	364	507	842	664	2,216	3,359	3,276	2,671	3,759	4,718	7,611	12,093
青森県	申請取消件数	169	287	584	327	314	351	421	415	857	968	1,575	2,510
	運転経歴証明書交付件数	59	181	447	209	139	95	78	80	504	682	1,213	1,946
岩手県	申請取消件数	66	58	95	63	159	238	255	285	365	647	1,210	1,995
	運転経歴証明書交付件数	38	37	54	32	56	65	65	62	186	443	925	1,567
宮城県	申請取消件数	270	320	382	304	566	890	814	487	864	1,024	1,906	3,174
	運転経歴証明書交付件数	151	166	205	131	179	483	480	251	675	872	1,731	2,914
秋田県	申請取消件数	131	132	88	348	1,198	1,460	1,662	1,413	1,204	1,233	1,556	2,067
	運転経歴証明書交付件数	63	60	41	249	1,054	1,283	1,447	1,218	1,022	1,042	1,337	1,765
山形県	申請取消件数	36	46	46	50	506	1,033	1,090	1,138	1,061	1,198	1,762	2,435
	運転経歴証明書交付件数	11	24	19	10	258	522	448	483	557	643	1,004	1,574
福島県	申請取消件数	70	58	154	91	636	1,049	966	813	1,054	1,251	1,611	2,623
	運転経歴証明書交付件数	42	39	76	33	530	911	758	577	815	1,036	1,401	2,327

8

3. 東北における公共交通サービスの現状

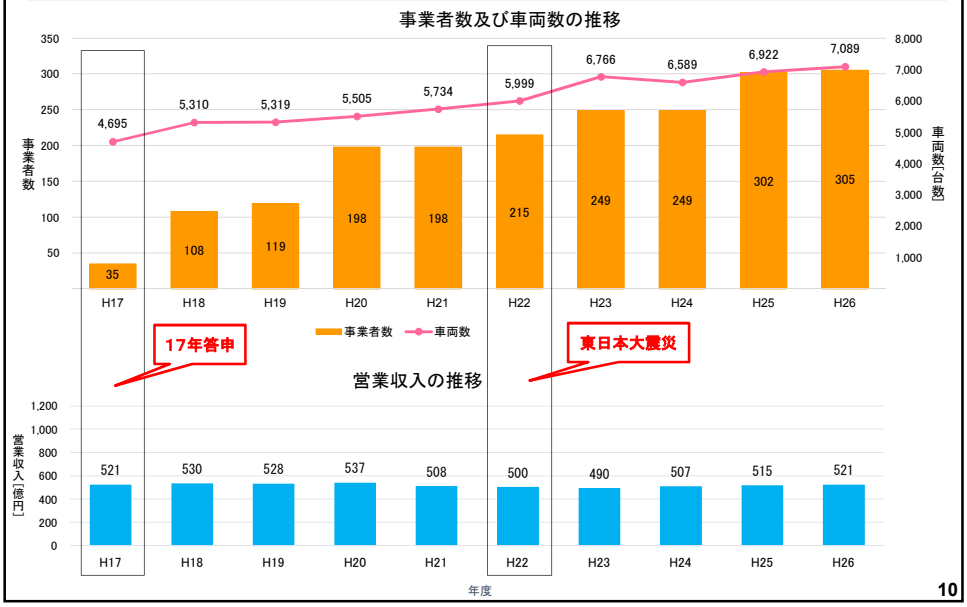
- 震災以降、在来線は輸送人員が減少しているが、新幹線や仙台市営地下鉄は緩やかに増加している。
- 営業収入全体も、減少傾向から回復基調にあり、近年では答申時点を上回っている。



9

3. 東北における公共交通サービスの現状

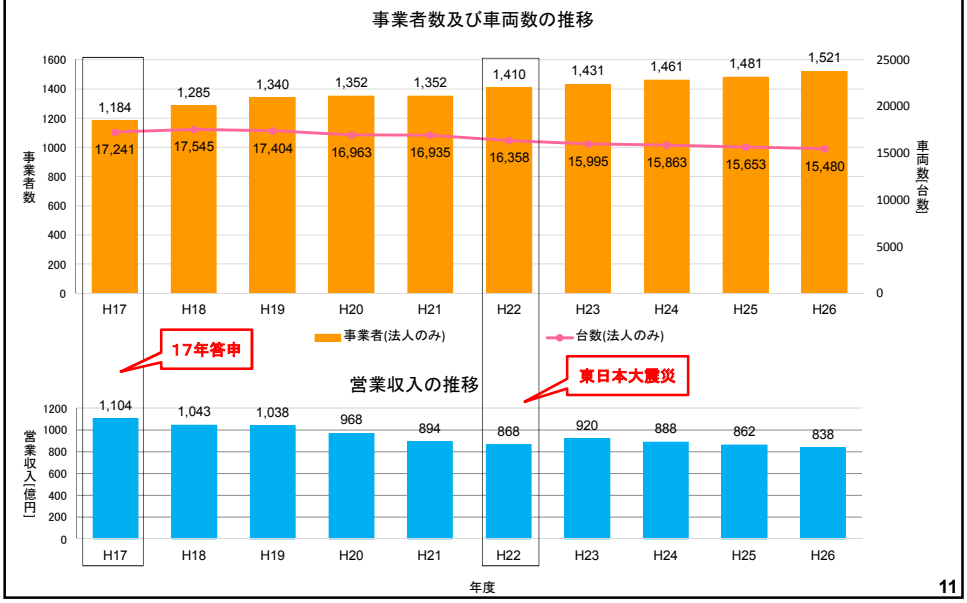
- 近年、乗合事業（バス・乗合タクシー）の車両台数、事業者数は増加傾向が続いているが、営業収入はH23まで減少、それ以降は増加に転じている。



10

3. 東北における公共交通サービスの現状

- 福祉限定タクシーの増加に伴い、事業者数は増加傾向にあるものの、タクシー・ハイヤーの総車両台数及び営業収入は減少傾向にある。



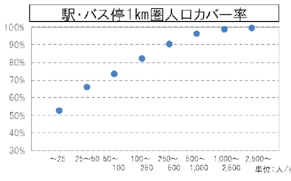
11

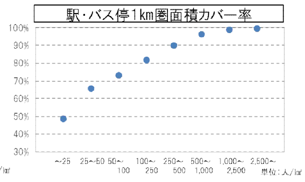
3．東北における公共交通サービスの現状

【人口密度（H22)と公共交通ネットワーク（鉄道＋路線バス）の関係】

- 東北全域を見ると、人口密度の高い地域の集中する拠点間及び連担する地域間に鉄道ネットワークを形成する傾向。
- 一方、人口密度が低い地域にもバス路線を中心に運行（一部の鉄道路線沿線についても人口密度が極めて低い）。
- また、人口密度の低い地域ほど、公共交通カバー率は低い傾向。

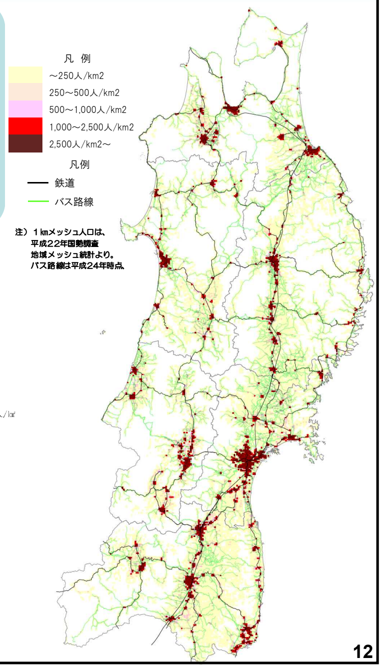
＝＞ 面的に網羅されつつも、低密度地域が広がる地方部を中心に、公共交通の維持･確保が困難な状況





単位：人/㎢	人口ベース(人)			面積ベース(㎢)		
	駅･バス停1km以内	駅･バス停1km以上	1km以内カバ-率	駅･バス停1km以内	駅･バス停1km以上	1km以内カバ-率
～25	28,018	24,990	52.9%	2,327	2,448	48.7%
25～50	63,912	32,661	66.2%	1,756	917	65.7%
50～100	179,564	64,023	73.7%	2,463	899	73.3%
100～250	553,943	119,547	82.2%	3,463	769	81.8%
250～500	672,853	70,637	90.5%	1,920	211	90.1%
500～1,000	758,269	26,862	96.6%	1,075	39	96.5%
1,000～2,500	1,290,429	10,105	99.2%	819	7	99.2%
2,500～	3,351,860	3,067	99.9%	751	1	99.9%

注1)「東北運輸局管内における交通不便地域に関する実態調査報告書(平成24年度)」成果を一部加工して作成
注2)3次メッシュを対象として、最寄りバスの停留所･フリー乗降区間、鉄道駅を算出
ただし、デマンド交通が運行されている地域、岩手県、宮城県、福島県の沿岸37市町村を除く
注3)人口は平成22年国勢調査、鉄道･バス路線は平成24年時点
注4)面積は可住地メッシュを対象



3．東北における公共交通サービスの現状

【人口増減状況（H17~22）と公共交通ネットワークの関係】

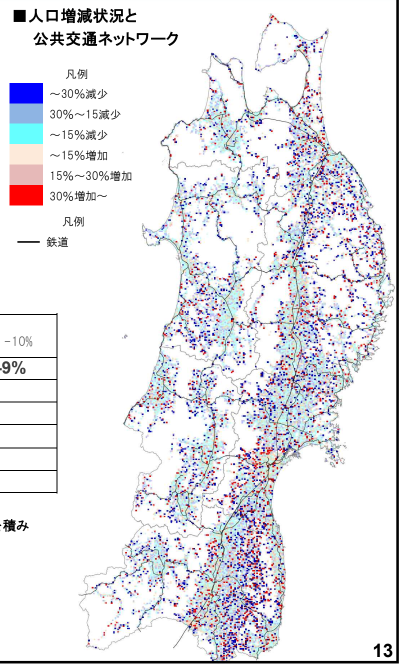
- 平成17年から22年の人口増減状況をみると、特に人口密度の低い地域ほど人口減少が進行。
- 平成22年以降においても、東北全体の人口減少は進んでおり、低密度地域もより一層人口が減少しているものと想定。
- よって、公共交通の維持・確保はますます困難性が高くなっているものと推察。

■人口規模別に見たH17～H22の人口増減率

単位：人/㎢	メッシュ別人口（人）		増減率：（H22－H17）／H17
	H22	H17	0%　－2%　－4%　－6%　－8%　－10%
～250	1,549,341	1,696,379	-9%
250～500	1,050,559	1,107,625	-5%
500～1,000	1,072,469	1,105,848	-3%
1,000～2,500	1,793,209	1,811,205	-1%
2,500～	3,790,702	3,824,655	-1%
６ 県 合 計	9,256,280	9,545,712	-3%

注1)各年国勢調査メッシュ別人口
注2)東北全域(６県合計)の人口は、メッシュ単位を積み上げたものであり県人口の合計とは一致しない
注3)H17時点でメッシュ人口がゼロは対象から除く

■人口増減状況と公共交通ネットワーク



3．東北における公共交通サービスの現状

【人口減少の将来予測】

- 平成42年には全体的に人口減少が進行。特に、人口密度の高い地域及び中低密度（250～500人/k㎡）地域において半減近くまで減少。
- 駅やバス停から1km内の人口も大きく減少。

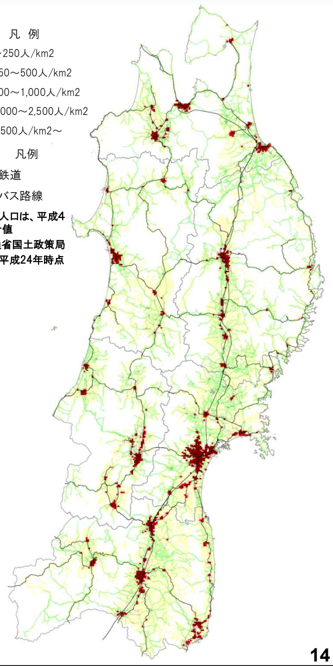
=> 公共交通機関を維持していくことが、地方部に限らず都市部においても厳しくなると想定

単位：人/k㎡	メッシュ別人口（人） H22	メッシュ別人口（人） H42推計値	増減率：（H42－H22）／H22
～250	1,552,084	1,051,555	-32%
250～500	1,051,114	548,591	-48%
500～1,000	1,072,469	668,782	-38%
1,000～2,500	1,793,209	1,413,845	-21%
2,500～	3,790,702	2,057,984	-46%
6 県 合 計	9,259,578	5,740,757	-38%

注1)平成22年は国勢調査メッシュ別人口、平成42年は国土交通省国土政策局推計値
注2)東北全域(6県合計)の人口は、メッシュ単位を積み上げたものであり県人口の合計とは一致しない

単位:人/k㎡	駅・バス停1km以内 人口ベース(人) H22	H42	増減	面積ベース(k㎡) H22	H42	増減	圏内人口密度(人/k㎡) H22	H42
～25	28,018	44,690	+60%	2,327	5,798	+149%	12.0	7.7
25～50	63,912	59,249	▲7%	1,756	1,656	▲6%	36.4	35.8
50～100	179,564	134,788	▲25%	2,463	1,826	▲26%	72.9	73.8
100～250	553,943	376,174	▲32%	3,463	2,405	▲31%	160.0	156.4
250～500	672,853	376,602	▲44%	1,920	1,078	▲44%	350.4	349.4
500～1,000	758,269	486,674	▲36%	1,075	685	▲36%	705.4	710.5
1,000～2,500	1,290,429	1,089,049	▲16%	819	667	▲19%	1,575.6	1,632.8
2,500～	3,351,860	1,896,637	▲43%	751	459	▲39%	4,463.2	4,132.1

注1)「東北運輸局管内における交通不便地域に関する実態調査報告書（平成24年度）」成果を一部加工して作成
注2)3次メッシュを対象として、最寄りバスの停留所・フリー乗降区間、鉄道駅を算出
ただし、デマンド交通が運行されている地域、岩手県、宮城県、福島県の沿岸37市町村を除く
注3)人口は平成22年国勢調査及びH42推計値
注4)鉄道・バス路線は平成24年時点
注5)面積は可住地メッシュを対象



注1）1kmメッシュ人口は、平成42年推計値
出典：国土交通省国土政策局
注2）バス路線は平成24年時点

14

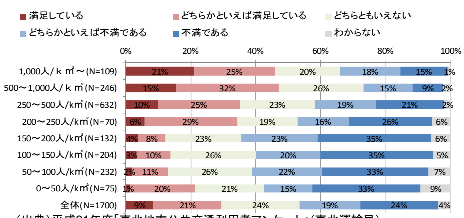
3．東北における公共交通サービスの現状

【「公共交通が整備されていること」に対する市民の満足度・重要度】

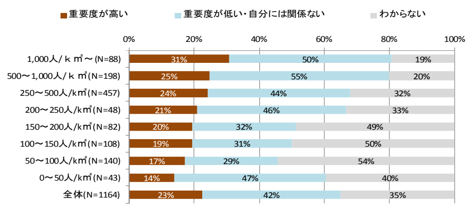
- 平成21年度に実施した「利用者アンケート（回答総数1,700人）」によると、居住地域の人口密度が低く、また、運行本数が極めて低い地域住民からも、「公共交通が整備されていること」に対して満足している層、重要と感じている層が一定割合いることを確認。

=>人口密度にかかわらず"公共交通が整備されている"ということに対する市民ニーズがあることを確認。
P8の免許返納状況等を踏まえると、今後一層の公共交通の確保ニーズが高まると推察（＝維持する意義）。

■居住地市区町村人口密度(H21)別にみた「公共交通が整備されていること」に対する満足度

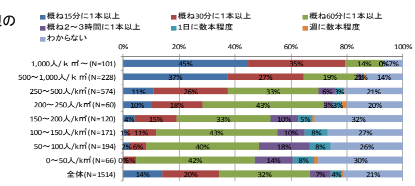


■居住地市区町村人口密度(H21)別にみた「公共交通が整備されていること」への重要度



（出典）平成21年度「東北地方公共交通利用者アンケート」（東北運輸局）。
注1）居住地市区町村人口密度は、住民基本台帳に基づく人口(H21)を各市区町村総面積（国土地理院）で除したもの。

（参考）居住地市区町村人口密度(H21)別にみた、回答者の自宅周辺の公共交通（鉄道又はバス）の運行本数

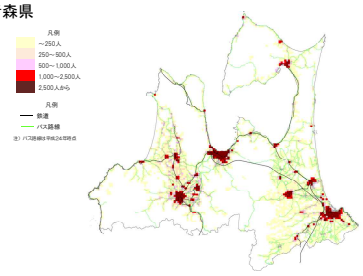


15

3. 東北における公共交通サービスの現状

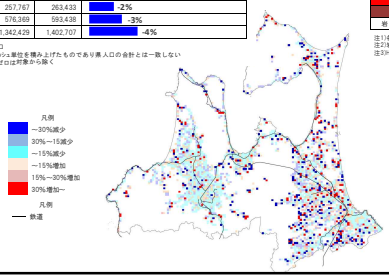
【参考】各県別の人口密度と公共交通ネットワークの現状

①青森県

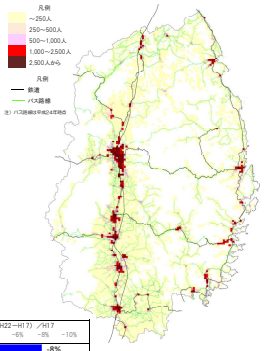


単位：人/ha	メッシュ別人口（人） H22	H17	増減率：（H22－H17）／H17
～250	164,769	182,506	-10%
250～500	158,628	168,147	-6%
500～1,000	184,896	195,193	-5%
1,000～2,500	257,767	263,439	-2%
2,500～	576,369	593,436	-3%
青森県合計	1,342,429	1,402,707	-4%

注1）各年国勢調査メッシュ別人口
注2）青森県合計の人口は、メッシュ単位を積み上げたものであり県人口の合計とは一致しない
注3）H17時点でメッシュ人口がゼロは対象から除く

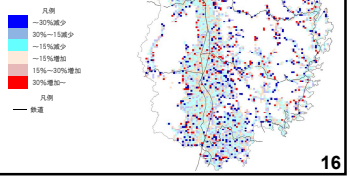


②岩手県



単位：人/ha	メッシュ別人口（人） H22	H17	増減率：（H22－H17）／H17
～250	326,206	354,016	-8%
250～500	161,914	170,866	-5%
500～1,000	177,773	183,393	-3%
1,000～2,500	296,794	304,829	-3%
2,500～	355,982	358,718	-1%
岩手県合計	1,318,669	1,371,822	-4%

注1）各年国勢調査メッシュ別人口
注2）岩手県合計の人口は、メッシュ単位を積み上げたものであり県人口の合計とは一致しない
注3）H17時点でメッシュ人口がゼロは対象から除く

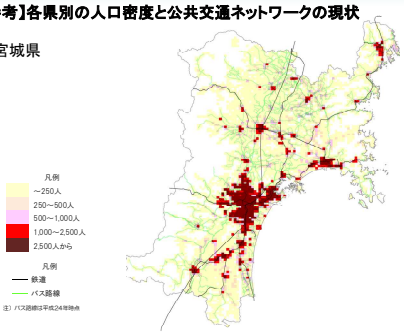


16

3. 東北における公共交通サービスの現状

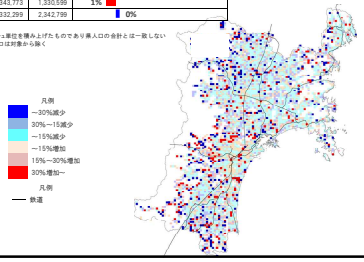
【参考】各県別の人口密度と公共交通ネットワークの現状

③宮城県

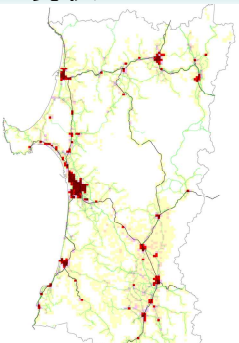


単位：人/ha	メッシュ別人口（人） H22	H17	増減率：（H22－H17）／H17
～250	252,561	276,347	-9%
250～500	175,287	183,391	-4%
500～1,000	181,636	184,028	-1%
1,000～2,500	379,042	368,434	3%
2,500～	1,343,773	1,330,599	1%
宮城県合計	2,332,299	2,342,799	0%

注1）各年国勢調査メッシュ別人口
注2）宮城県合計の人口は、メッシュ単位を積み上げたものであり県人口の合計とは一致しない
注3）H17時点でメッシュ人口がゼロは対象から除く

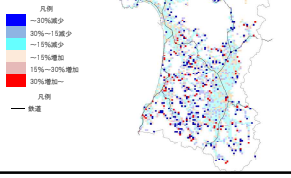


④秋田県



単位：人/ha	メッシュ別人口（人） H22	H17	増減率：（H22－H17）／H17
～250	243,227	268,416	-9%
250～500	162,060	172,755	-6%
500～1,000	142,388	147,877	-4%
1,000～2,500	209,900	216,532	-3%
2,500～	322,670	333,045	-3%
秋田県合計	1,080,245	1,138,625	-5%

注1）各年国勢調査メッシュ別人口
注2）秋田県合計の人口は、メッシュ単位を積み上げたものであり県人口の合計とは一致しない
注3）H17時点でメッシュ人口がゼロは対象から除く

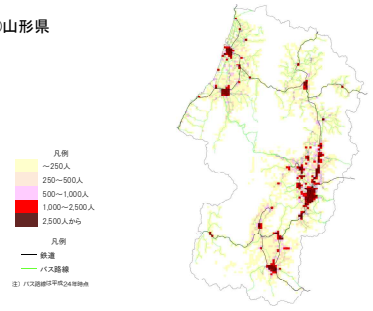


17

3. 東北における公共交通サービスの現状

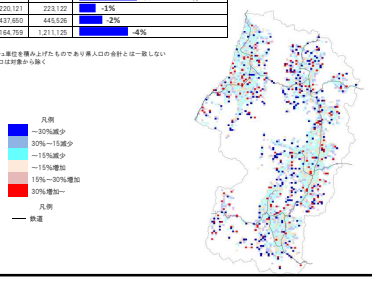
【参考】各県別の人口密度と公共交通ネットワークの現状

⑤山形県

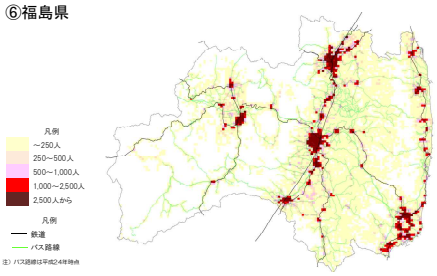


単位：人/㎢	メッシュ別人口（人） H22	H17	増減率：（H22－H17）／H17 0% −2% −4% −6% −8% −10%
～250	180,299	198,764	-9%
250～500	164,174	173,478	-5%
500～1,000	162,515	170,235	-5%
1,000～2,500	220,121	223,122	-1%
2,500～	437,650	445,526	-2%
山形県合計	1,164,759	1,211,125	-4%

注1）各年国勢調査メッシュ別人口
注2）山形県合計の人口は、メッシュ単位を積み上げたものであり県人口の合計とは一致しない
注3）H17時点でメッシュ人口がゼロは対象から除く

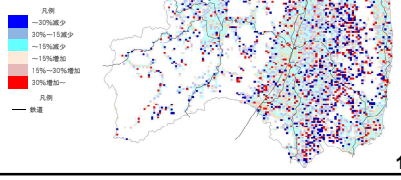


⑥福島県



単位：人/㎢	メッシュ別人口（人） H22	H17	増減率：（H22－H17）／H17 0% −2% −4% −6% −8% −10%
～250	382,279	416,330	-8%
250～500	228,496	238,988	-4%
500～1,000	223,261	225,132	-1%
1,000～2,500	429,585	434,855	-1%
2,500～	754,258	763,329	-1%
福島県合計	2,017,879	2,078,634	-3%

注1）各年国勢調査メッシュ別人口
注2）福島県合計の人口は、メッシュ単位を積み上げたものであり県人口の合計とは一致しない
注3）H17時点でメッシュ人口がゼロは対象から除く



18

4. 東北における観光の現状

①東北各県における観光入込数の推移〔上段：実入込客数、下段：延べ入込客数〕

- 観光入込数は、宮城県、山形県を除き、この５ヵ年で減少。東北６県計についても減少し、実入込客数、延べ入込客数ともに約８％減少。

（単位：万人）

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
青森県	1，487 （3，421）	1，111 （3，154）	1，148 （3，295）	983 （3，317）	1，181 （3，396）
岩手県	1，229 （2，896）	1，178 （2，271）	975 （2，740）	830 （2，884）	792 （2，894）
宮城県	1，998 （6，129）	1，577 （4，316）	2，472 （5，208）	1，850 （5，569）	2，263 （5，742）
秋田県	1，044※ （4，389）	1，043 （2，945）	888 （3，175）	958 （3，213）	998 （3，205）
山形県	1，452 （4，039）	1，453 （3，517）	1，521 （3，799）	1，583 （3，980）	1，763 （4，017）
福島県	2，254 （5，718）	1，482 （3，521）	1，639 （4，446）	1，755 （4，831）	1，722 （4，689）
東北6県	**9，464 （26，591）**	**7，844 （19，724）**	**8，643 （22，663）**	**7，958 （23，796）**	**8，720 （24，382）**
新潟県	2，676 （7，082）	2，617 （6，667）	2，576 （7，086）	3，115 （7，160）	3，214 （7，299）

・資料：各県観光統計資料及び観光庁「共通基準による観光入込客統計」により東北運輸局作成
・※　平成22年の秋田県の実入込客数は推計値

19

4. 東北における観光の現状

②東北各県における延べ宿泊者数〔上段：総数、下段：うち観光目的※〕

- 一方で、宿泊者数については、秋田県をのぞき、平成22年から27年までの6ヵ年で増加傾向。東北６県計についても約7%増加しているが、観光目的に限定すると13%減少している。

（単位：万人）

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
青森県	354 （131）	359 （136）	354 （129）	355 （131）	378 （134）	366 （140）
岩手県	426 （265）	489 （249）	493 （266）	469 （252）	477 （250）	493 （226）
宮城県	724 （398）	818 （329）	833 （353）	849 （355）	840 （373）	859 （358）
秋田県	313 （165）	273 （124）	284 （120）	283 （112）	272 （111）	258 （112）
山形県	426 （254）	425 （235）	417 （225）	435 （230）	443 （240）	433 （231）
福島県	782 （517）	800 （424）	745 （377）	790 （405）	829 （430）	842 （432）
東北6県	**3，025 （1，729）**	**3，165 （1，496）**	**3，125 （1，471）**	**3，180 （1，485）**	**3，239 （1，536）**	**3，251 （1，500）**
新潟県	734	768	745	730	739	745

・資料：観光庁「宿泊旅行統計調査報告」（平成22～26年は確定値　平成27年は暫定値）　・従業員数10人以上の宿泊施設の延べ宿泊者数
・※観光目的＝観光目的の宿泊客が50%以上の施設における延べ宿泊者数

20